令和元年度の連携取組の概要

資料4

進捗状況

≪ビジョン≫

年度	実施 一部実施	方針 決定	協議	事業数 (計)
H29	25事業 (60%)	3事業 (7%)	14事業 (33%)	42事業
H30	30事業 (72%)	1事業 (2%)	11事業 (26%)	42事業
R01	35事業 (80%)	8事業 (18%)	1事業 (2%)	44事業

2事業追加

連携取組の拡充

◆新規事業

○中小製造業海外販路開拓支援
（岡山市、総社市、赤磐市）

○子どもパスポート（全市町）

◆既存事業への参加

○食品製造業見本市共同出展
○NPO法人等の「こんなことできます」リスト等の情報発信
○多様な主体による課題解決マッチング
○地域における協働の仕組みづくりに関する情報交換
○公共施設の質・量の適正化に向けた仕組み構築
○図書館相互利用
○アートイベントの連携による情報発信
○官民協働事業の促進
○市民活動ノウハウ移転支援
○JRの利用促進と駅機能強化
○公共施設の相互利用の仕組み構築
（11事業へ4市2町が参加）

主な取組事業

Ⅰ　圏域全体の経済成長のけん引

○中小企業の経営健全化・人材確保等支援

【連携市町】　岡山市、総社市、備前市、瀬戸内市、真庭市

●新規学卒予定者等を対象とした合同企業説明会や、小規模企業向けのセミナーの開催。

○食品製造業見本市共同出展

【連携市町】　岡山市、津山市、総社市、瀬戸内市、真庭市

●食品製造業の販路開拓・拡大を支援するため、規模を拡大し見本市へ共同でブースを設置。

○中小製造業海外販路開拓支援 新規

【連携市町】　岡山市、総社市、赤磐市

●圏域内の中小製造業の海外販路の開拓を支援するため、アジア諸国の企業との商談会を開催。

○圏域内周遊に向けた歴史・文化資源発信

【連携市町】　全市町

●圏域の歴史や文化を題材とした短編集をもとに、圏域内周遊を目的としたモデルコースをテーマ毎に作成し、雑誌広告等により情報発信。
●吉備路サイクリングマップを更新し、日本遺産の認定を契機とした自転車観光の利便性を向上。
●日本遺産のストーリー及び構成文化財を活用し、国内外に魅力を発信し、地域活性化を図る。

Ⅱ　高次の都市機能の集積・強化

○ＥＳＤ実践

【連携市町】　全市町

●岡山市、真庭市のSDGs未来都市の取組を取り入れた研修を岡山市、総社市、吉備中央町の3箇所で実施し、ESDを一層推進。

○市民活動の広域展開と市民協働の推進

【連携市町】　岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、久米南町、美咲町、吉備中央町

●NPO法人等の「こんなことできますリスト」を作成し、ウェブサイトで公開。
●多様な主体による課題解決を進めるためのマッチング会を開催。
●岡山市で実施した官民協働事業のノウハウを連携市町のNPO法人等に移転。

Ⅲ　圏域全体の生活関連機能サービスの向上

○移住促進連携

【連携市町】　全市町

●移住相談会を新たに大阪で開催、合同での下見ツアーを実施。

○図書館相互利用

【連携市町】　岡山市、津山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、美咲町、吉備中央町

●新たに津山市、瀬戸内市の図書館を加え、相互利用（貸出・返却）を実施。

○子どもパスポート 新規

【連携市町】　全市町

●圏域市町の小学生を対象に、圏域内の指定施設（教育・文化施設等）を無料で利用できるパスポートを作成・配布。